

対象校No.

注4

学校コード F109310101632

注3

設置年度

令和

5年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

認可

注2

獨協医科大学大学院 看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 （改正前大学設置基準適用）

学校法人獨協学園
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 看護学部事務室 看護教務課

職名・氏名 カチョウホサ 課長補佐 ・ タケダ ミ ホ 武田美保

電話番号 0282-87-2489

（夜間） 0282-86-1111

e-mail kangogakubu@dokkyomed.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

目次

看護学研究科看護学専攻

＜博士後期課程＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	22

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人獨協学園

(2) 大 学 名

獨協医科大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880番地

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ヨシダ ケンイチロウ) 吉 田 謙一郎 (平成30年10月1日)	(イノuchi ユウジ) 猪 口 雄 二 (令和5年8月2日)	任期満了に伴う変更 (6)
学 長	(ヨシダ ケンイチロウ) 吉 田 謙一郎 (平成30年10月1日)		
研究科長	(セキネ タカシ) 関 根 正 (令和4年5月1日)	(カネコ ショウコ) 金 子 昌 子 (令和7年5月1日)	任期満了に伴う変更 (7)
学科長等	該当なし		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してくた

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの5年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が6年を越え、様式に変更が必要な場合には、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
看護学研究科 看護学専攻 博士後期課程 博士(看護学)	保健衛生学関 係(看護学関 係)	3 年	3 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	9 人		

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・「学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	3人 (-) [-]	—人 (-) [-]	3人 (-) [-]	—人 (-) [-]	3人 (-) [-]	—人 (-) [-]	—	1.11 倍	— 倍	
志願者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	6 [-]	(-) [-]	7 [-]	(-) [-]	2 [-]	(-) [-]				
受験者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	6 [-]	(-) [-]	7 [-]	(-) [-]	2 [-]	(-) [-]				
合格者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	5 [-]	(-) [-]	5 [-]	(-) [-]	2 [-]	(-) [-]				
B 入学者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	5 [-]	(-) [-]	5 [-]	(-) [-]	2 [-]	(-) [-]				
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	1.66	—	1.66	—	0.66	—				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ・()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	5 [－] (－)	－ [－] (－)	5 [－] (－)	－ [－] (－)	2 [－] (－)	－ [－] (－)	令和7年度3年次3名の内1名は転入学生
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	4 [－] (－)	－ [－] (－)	5 [－] (－)	－ [－] (－)	
3 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	3 [－] (－)	
4 年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計			－ [－] (－)	－ [－] (－)			－ [－] (－)	－ [－] (－)	5 [－] (－)	－ [－] (－)	9 [－] (－)	－ [－] (－)	

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	4 人	1 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	修学意欲の低下(1人)
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	1 人	- 人	
令和6年度	7 人	2 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	2 人	- 人	修学意欲の低下(2人)
			令和6年度	人	- 人	
令和7年度	10 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	人	人	
合 計		3 人		3 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{1}{5} = \boxed{20} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{2}{9} = \boxed{22.22} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学研究科博士後期課程>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	看護学研究特論	1前	1			4					2
	看護倫理特論	1後	1			1					
	看護学教育特論	2前	1			2					
	小計(3科目)	-	3			6					
専門科目	生体機能ケア特論	1前		2		2	1				
	看護実践ケア開発特論	1前		2		3	3				
	生活環境調整支援特論	1前		2		2	1				
	地域ケアシステム開発特論	1前		2		4					
	看護キャリアマネジメント特論	1前		2		2					
	小計(5科目)	-		10		12	5				
研究科目	博士特別研究Ⅰ	1通	3			12	2				
	博士特別研究Ⅱ	2通	3			12	2				
	博士特別研究Ⅲ	3通	3			12	2				
	小計(3科目)	-	9			12	2				
合計(11科目)		-	12	10	0	13	5				2
卒業要件及び履修方法											
本研究科博士後期課程に3年以上在籍し、必修科目12単位、専門科目の選択科目2単位以上、計14単位以上を修得する。かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること。											

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	看護学研究特論	1前	1			2	2				2
	看護倫理特論	1後	1			1					
	看護学教育特論	2前	1			2					
	小計(3科目)	-	3			4	2				
専門科目	生体機能ケア特論 (未開講)	1前		2		1	1				2
	看護実践ケア開発特論	1前		2		3	2				
	生活環境調整支援特論 (未開講)	1前		2		0	0				
	地域ケアシステム開発特論	1前		2		3	1				
	看護キャリアマネジメント特論 (未開講)	1前		2		2					
	小計(5科目)	-		10		8	4				
研究科目	博士特別研究Ⅰ	1通	3			10	2				
	博士特別研究Ⅱ	2通	3			10	2				
	博士特別研究Ⅲ	3通	3			10	2				
	小計(3科目)	-	9			10	2				
合計(11科目)		-	12	10	0	10	5				5
卒業要件及び履修方法											
本研究科博士後期課程に3年以上在籍し、必修科目12単位、専門科目の選択科目2単位以上、計14単位以上を修得する。かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること。											

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	看護学研究特論	1前	1			4					2
	看護倫理特論	1後	1			1					
	看護学教育特論	2前	1			2					
	小計(3科目)	-	3			6					
専門科目	生体機能ケア特論 (未開講)	1前		2		2	1				0
	看護実践ケア開発特論	1前		2		4	2				
	生活環境調整支援特論 (未開講)	1前		2		2	1				
	地域ケアシステム開発特論	1前		2		3	1				
	看護キャリアマネジメント特論	1前		2		2					
	小計(5科目)	-		6		11	5				
研究科目	博士特別研究Ⅰ	1通	3			13	1				2
	博士特別研究Ⅱ	2通	3			13	1				
	博士特別研究Ⅲ	3通	3			13	1				
	小計(3科目)	-	9			13	1				
合計(11科目)		-	12	10	0	13	5				2
卒業要件及び履修方法											
本研究科博士後期課程に3年以上在籍し、必修科目12単位、専門科目の選択科目2単位以上、計14単位以上を修得する。かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること。											

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	看護学研究特論	1前	1			4					2
	看護倫理特論	1後	1			1					
	看護学教育特論	2前	1			2					
	小計(3科目)	-	3			6					
専門科目	生体機能ケア特論	1前		2		2	1				2
	看護実践ケア開発特論	1前		2		3	2				
	生活環境調整支援特論 (未開講)	1前		2		2	1				
	地域ケアシステム開発特論	1前		2		2					
	看護キャリアマネジメント特論	1前		2		2					
	小計(5科目)	-		6		10	4				
研究科目	博士特別研究Ⅰ	1通	3			12	1				4
	博士特別研究Ⅱ	2通	3			12	1				
	博士特別研究Ⅲ	3通	3			12	1				
	小計(3科目)	-	9			12	1				
合計(11科目)		-	12	10	0	13	4				4
卒業要件及び履修方法											
本研究科博士後期課程に3年以上在籍し、必修科目12単位、専門科目の選択科目2単位以上、計14単位以上を修得する。かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること。											

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・教員の退職により、「看護実践ケア開発特論」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・教員の退職及び非常勤講師の採用により、「地域ケアシステム開発特論」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授2、兼任・兼任2」に変更。
- ・教員の退職及び新規採用により、「博士特別研究Ⅰ、博士特別研究Ⅱ、博士特別研究Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授12、准教授2」から「教授12、准教授1」に変更。

【令和6年度】

- ・教員の補充により、「看護実践ケア開発特論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
- ・教員の補充により、「地域ケアシステム開発特論」の専任教員等の配置を「教授2、兼任・兼任2」から「教授3、准教授1」に変更。
- ・教員の退職及び新規採用により、「博士特別研究Ⅰ、博士特別研究Ⅱ、博士特別研究Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授12、准教授1」から「教授13、准教授1」に変更。

【令和7年度】

- ・教員の退職及び新規採用により、「看護学研究特論」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授2、准教授2」に変更。
- ・教員の退職により、「生体機能ケア特論」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・教員の退職及び非常勤講師の採用により、「看護実践ケア開発特論」の専任教員等の配置を「教授4、准教授2」から「教授3、准教授2、兼任・兼任2」に変更。
- ・教員の退職及び非常勤講師の採用により、「生活環境調整支援特論」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教員の退職及び新規採用により、「博士特別研究Ⅰ、博士特別研究Ⅱ、博士特別研究Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授13、准教授1」から「教授10、准教授2」に変更。

- (注)・ 2 (1) ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
6 科目	5 科目	0 科目	11 科目	6 科目	5 科目	0 科目	11 科目	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1 科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	生活環境調整支援特論	2	1前	専門	選択	担当教員1名が健康上の理由で急遽退職となり、後任が補充できなかったため。
2						
3						

(注)・配当年次に達しているに関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「生活環境調整支援特論」を担当する教員1名が健康上の理由により急遽退職となった。教員の伝手を頼り後任を探したが、3月末までにみつけることができなかった。次年度の開講に向け、確実に専任教員を補充する（令和7年9月AC教員資格審査受審予定）。

なお、学生には、当該科目が未開講となることを年度初めに実施したオリエンテーションにおいて周知済みである。

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{1}{11} = \boxed{9.09} \%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	埼玉医療センター隣接地 取得のため(7)			
	校 舎 敷 地	140,680.6㎡	0㎡	5,626.4㎡	146,307㎡				
	運動場用地	26,093.9㎡	0㎡	0㎡	26,093.9㎡				
	小 計	166,774.5㎡	0㎡	5,626.4㎡	172,400.9㎡				
	そ の 他	1,417,791.45㎡ 1,417,655.3㎡	0㎡	0㎡	1,417,791.45㎡ 1,417,655.3㎡				
	合 計	1,584,565.95㎡ 1,584,429.8㎡	0㎡	5,626.4㎡	1,584,565.95㎡ 1,584,429.8㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	総合教育研究棟の新築、 看護学部棟増築のため (6)				
	94,621㎡ 71,906㎡ (71,906㎡)	— ㎡ (— ㎡)	1,969.2㎡ (1,969.2㎡)	96,590.2㎡ 73,875.2㎡ (73,875.2㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	総合教育研究棟の新築、 看護学部棟増築のため (6)			
	44室 25室	41室 38室	14室	2室 3室 (補助職員 3人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		看護学部棟増築のため (6)			
	看護学研究科看護学専攻(博士後期課程)			27 19 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書、視聴覚資料の増加 分は、資料購入により冊 数・点数が追加されたた め(6)(7) 機械・器具の減少分は、 老朽化に伴う機器除却た め(6) 機械・器具及び標本の減 少分は、老朽化に伴う廃 棄のため(7)	
	看護学研究科 看護学専攻 (博士後期課程)	118,470 [37,167] (116,649 [36,849]) (115,484 [36,788]) (113,970 [36,715])	11,982 [9,638] (11,982 [9,638])	7,014 [6,889] (7,014 [6,889])	2,143 (2,131) (2,118) (2,113)	12,030 12,394 12,666 (12,030) (12,394) (12,666)	360 368 (360) (-368)		
	計	118,470 [37,167] (116,649 [36,849]) (115,484 [36,788]) (113,970 [36,715])	11,982 [9,638] (11,982 [9,638])	7,014 [6,889] (7,014 [6,889])	2,143 (2,131) (2,118) (2,113)	12,030 12,394 12,666 (12,030) (12,394) (12,666)	360 368 (360) (-368)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		総合教育研究棟の新築の ため(6)				
	3,498㎡ 5,894.9㎡	264 333	284,225 330,450						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	7,354.6㎡	武 道 場	テ ニ ス コ ー ト	4 面					
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員1人当り研究費等の 減額は、研究費は職位ご とに認定されており、人 員変動に伴う1人当り平 均額の減少のため(6) (7) 設備購入費の増加分は教 員・学生数増加に伴う購 入機器増加のため(6) 設備購入費の減少分はサ テライト(姫路)中止の ため(7)
		教員1人当り研究費等	500千円	414千円 480千円 500千円	図書購入費	0千円	0千円	0千円	
	共 同 研 究 費 等	0千円	0千円	設備購入費	0千円	2,500千円	2,500千円 3,000千円 2,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		800千円	600千円	600千円	-千円	-千円	-千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、寄付金収入、受託事業収入						

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び

「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)

・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。

・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称		獨協医科大学									収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
医学部	6	126	-	726	-	1.03	1.00	-	-					
医学科	6	126	-	726	学士(医学)	1.03	1.00	令和6年度	昭和48	栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880	令和6年度より臨時定員増(16)			
看護学部	4	145	3年次10	500	-	0.99	-	-	-					
看護学科	4	145	3年次10	500	学士(看護学)	0.99	-	令和6年度	平成19	栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880	令和3年度より入学定員増(5)編入学定員減(Δ10)、令和6年度より入学定員増(50)			
大学全体	-	271	3年次10	1232	-	-	-	-	-	栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等

（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度 A C の対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和5年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。 【認可】 遵守事項	完成年度に「高齢者の採用に関する内規」の対象となる教員が7名いることから、後任となる中堅・若手教員の昇任・昇格及び採用を計画的に実施できるよう検討する。 履行中	研究指導の継続性及び質保証の観点からの副指導教員の選任と指導体制づくりを徹底する。また、研究指導教員の教育業績、研究論文指導業績、研究業績の分析を行う。また、分析に基づいて看護学研究科担当教員の登用要件を明確化し、明文化する。(5)(6) 研究指導の継続性及び質保証の観点からの副指導教員の選任と指導体制づくりを徹底する。研究指導教員の教育業績、研究論文指導業績、研究業績の分析に基づき、看護学研究科担当教員の登用要件を明文化した。また、主指導教員、副指導教員の要件を充足するよう、研究活動の支援を行っている。(7)

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)(7)」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学研究科博士後期課程>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

「獨協医科大学大学院看護学研究科運営委員会規程」に基づき、委員会を設置。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和5年は11回開催。構成員5名。（5名出席9回、4名出席2回）

令和6年は12回開催。構成員8名。（9名出席5回、8名出席5回、7名出席2回）

令和7年度も月1回の定例開催予定。

c 委員会の審議事項等

（審議事項）

第6条 運営委員会は、研究科の管理運営に関する重要な事項について審議する。

2 運営委員会は、前項のほか、次の各号に掲げる事項についてあらかじめ審議し、委員長は、その結果を教授会に報告あるいは提案する。

- (1) 学生の入学（転入学、再入学を含む。）及び課程の修了
- (2) 授業及びカリキュラム
- (3) 試験及び成績
- (4) 学生の休学、復学、退学及び除籍、並びに長期履修
- (5) 学位論文に関する事項
- (6) 学生の賞罰及び学生生活全般
- (7) 学生の学外研修
- (8) その他教授会から委任された事項

② 実施状況

a 実施内容

教育目標の達成に向け、看護学研究科担当教員に相応しい教育研究能力及び指導能力の育成と向上に寄与するFD研修会（教育研究指導事例検討、研究発表、ハラスメント・研究倫理に関する知識・意識の向上等）を企画し、実施。

b 実施方法

看護学研究科教員及び看護学部教員を対象とした、FD研修会を複数回開催。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

○令和5年度

1) 研究活動・研究指導に関するプレゼンテーション

第1回：令和5年10月25日（水）

参加者 延べ35名（教員32名、大学院生5名（前期課程：3名、後期課程：2名））

第2回：令和5年12月21日（木）

参加者 延べ32名（教員27名、大学院生7名（前期課程：5名、後期課程：2名））

第3回：令和6年2月28日（水）

参加者 延べ39名（教員38名、大学院生4名（前期課程：1名、後期課程：3名））

2) 看護学研究科FD・SD研修会【ハラスメント研修】

日 時：令和5年9月20日（水）

参加者 延べ36名（教員32名、大学院生（博士後期）1名・事務職員4名）

3) 看護学研究科・看護研究倫理委員会合同企画FD研修会【研究倫理】

日 時：令和6年3月14日（木）

参加者 延べ44名（教員33名、大学院生5名（前期課程：3名、後期課程：2名）、看護学部以外の教員・職員8名）

○令和6年度

1) 研究活動・研究指導に関するプレゼンテーション

第1回：令和6年7月17日（水）

参加者 41名（教員）

第2回：令和6年9月18日（水）

参加者 33名（教員）

2) 看護学研究科FD研修会（研究計画書に対する指導）

日 時：令和6年11月20日（水）

参加者 38名（教員）

3) 看護学研究科FD研修会（研究指導計画の立案）

日 時：令和7年2月19日（水）

参加者 40名（教員）

4) 看護学研究科FD研修会（研究倫理）

日 時：令和7年3月13日（木）

参加者 31名（教員）

○令和7年度については、計画中（令和7年5月現在）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

令和5年度は、研究科担当教員の研究能力および研究指導力の向上を目標として計5回開催した。実施後アンケートからは、各教員が自分の研究や研究指導のあり方、今後の課題、課題に対するアプローチについて明確化できたことが伺えた。令和6年度は、教員の研究指導力の向上を目標として計5回実施した。実施後アンケートからは、各教員が自身の研究活動や研究指導の参考となったこと、自身の学び方や今後のキャリアについて考える機会となったことが伺えた。

これまでのFD研修を踏まえ、令和7年度以降の研究活動や研究指導に還元されることにつなげていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・令和5年度・令和6年度：前期、後期それぞれで実施済み
- ・令和7年度：令和6年度同様に実施予定

b 教員や学生への公開状況、方法等

結果は、研究科長からのコメントを付して大学院生研究室に一定期間開示する。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

博士後期課程設置の趣旨・目的の達成に向け、学修環境の調整、入学者選抜、入学後の履修ガイダンス、主・副指導教員の決定（研究指導体制づくり）、授業科目の履修、博士論文スケジュールに則った研究指導等を確実に実施している。今年度は完成年度を迎え博士論文審査を実施するため、博士論文の指導を着実に進めていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表時期

- ・令和4年度自己点検・評価報告書は公開中
- ・令和5年度自己点検・評価報告書は公開中
- ・令和6年度自己点検・評価報告書は令和8年3月公開予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上で公開
<https://www.dokkyomed.ac.jp/dmu/quality-assurance/self-evaluation.html>

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）受審済み
認定期間：令和6年4月1日から令和13年3月末日
<https://www.dokkyomed.ac.jp/dmu/quality-assurance/evaluation.html>
- ・一般財団法人日本看護学教育評価機構（JABNE）の評価受審済み
認定期間：令和5年4月1日から令和12年3月31日
<https://www.dokkyomed.ac.jp/dmu/quality-assurance/jabne.html>

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

- a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☒ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
- c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。